

3つの教育方針 解説【2/25会議】

3つの教育方針とは

1 人は自然の一環にあり、自然の大切さ、命の尊さを再認識し、自然との共生を図る

人は生物として、自然の一環の中にあり、自然から様々な恵みを受容して生存するとともに、自然から様々な叡智を得て、社会の営みを築いてきました。

しかし、今、自然との触れ合いが減少し、自然に反した生活局面も多くなってきており、欧米では心身に支障をきたす“自然欠乏症候群”を危惧する動きもあります。人にとって自然の大切さ、命の尊さを再認識し、教育の中でも、自然との共生を重視することが必要です。

2 地域・家庭・学校が価値観を共有し、多様な人が関わり合いをもつ

人は他者の支えなしには生きられない社会的な存在です。血縁、地縁、知縁の3つの絆がある中で、都市化や情報化の進展に伴い、居心地の良い“知縁”が重視される一方で、関係づくりが煩わしい“地縁”の希薄化・弱体化が進んできています。家庭も核家族化、少子化が進み、機能が低下しています。

しかし、人の暮らしは生活基盤となる地域を離れては成り立たず、直接的な支えが必要などときには、遠く離れた知縁・血縁では支えになりません。行政サービスでカバーできる範囲にも限界があり、地域の絆が不可欠です。学校も同様です。安心安全で楽しく充実した時を過ごせる住みよい地域は、そこに暮らす住民どうしで形成していく必要があります。また、地域には、それぞれの特性や資源、先人が培ってきた知恵や歴史・文化の蓄積もあります。人が学び、育つ環境もこうした地域での暮らしの中にあり、教育、とりわけ子どもの教育にとって、地域との共存は、家庭や学校では担えない重要な機能を果たします。

3 多様な人々の存在を認め合い、尊重する人づくり（人を育む）

一人ひとりが大切にされる社会は、自分と違う他者を認め、尊重しあうことで成り立ちます。また、多様な人が交わり、多様な力が組み合わさることで、補完・支え合いの関係や新たな発見、価値の創造が可能になります。

教育の中でも、多様な個性・能力・経験を持つ多様な世代の方々とともに交流する環境を大切にすることが必要です。

3つの教育方針 解説【修正案】

3つの教育方針について

1 自然の大切さ、命の尊さを学び、自然と共生する

人は生物として、自然の一環の中にあり、自然から様々な恵みを受容して生存するとともに、自然から様々な叡智を得て、社会の営みを築いてきました。

しかし、今、自然との触れ合いが減少し、自然に反した生活局面も多くなってきており、欧米では心身に支障をきたす“自然欠乏症候群”を危惧する動きもあります。人にとって自然の大切さ、命の尊さを再認識し、学び、教育の中でも、自然との共生を重視する必要があることです。

2 地域で家庭や学校を支え、関わり合いながら、向上心をもって、ともに成長する

人は他者の支えなしには生きられない社会的な存在です。血縁、地縁、知縁の3つの絆がある中で、都市化や情報化の進展に伴い、居心地の良い“知縁”が重視される一方で、関係づくりが煩わしい“地縁”の希薄化・弱体化が進んできています。家庭も核家族化、少子化が進み、機能が低下しています。

しかし、人の暮らしは生活基盤となる地域を離れては成り立たず、直接的な支えが必要などときには、遠く離れた知縁・血縁では支えになりません。行政サービスでカバーできる範囲にも限界があり、地域の絆が不可欠です。学校も同様です。安心安全で楽しく充実した時を過ごせる住みよい地域は、そこに暮らす住民どうしで形成していく必要があります。

また、地域に暮らしている多世代が互いに交流することで、核家族化、少子化が進んだ家庭では担うことができない、先人が培ってきた知恵、風習、文化の伝承だけでなく、生命の誕生や人生の最期を見守ることや、互いを敬う心、愛おしく思う心を育みます。それぞれの特性や資源、先人が培ってきた知恵や歴史・文化の蓄積もあります。

人が学び、育つ環境は、こうした地域での暮らしの中にあり、教育、とりわけ子どもの教育にとって、地域との共存は、教育面でも家庭や学校では担えない重要な機能を果たします。

3 多様な人々の存在や価値観を認め合い、まざって暮らす

一人ひとりが大切にされる社会は、自分と違う他者の存在を認め、尊重しあうことで成り立ちます。また、多様な人が交わり、多様な力が組み合わさることで、補完・支え合いの関係や新たな発見、価値の創造が可能になります。

また、画一的な価値観にとらわれない視野の広いものの見方が、学校にも地域にも家庭にも存在すれば、すべての人は、自ずと相手を寛大に受け入れ、また、自分が受け入れられたことにより、必要とされていることを実感することができます。

教育の中でも、多様な個性・能力・経験を持つ多様な世代の方々とともに交流する環境を大切にすることが必要です。